

“道路が未来を紡ぐ”「徳島創生ミーティング」

1. 日 時：令和7年10月17日(金)15:00～17:00
2. 場 所：徳島県庁 11 階 講堂
3. 参加者：国土交通省四国地方整備局・徳島県・徳島県議会・
市町村(徳島南部・高知東部)・民間企業（計 28 名）
4. 概 要：民間企業や自治体の地方創生に向けた「ならではの取組」を
掘り起こし、その実現の鍵となる道路への
「期待や利用価値」について意見交換を行った。
今後、この声を国へ届けるとともに、広く情報発信することで、
道路整備の更なる促進、ひいては「徳島の新未来創生」に繋げていく。
5. 主な意見
 - ・ 徳島ならではの強みを活かした持続可能な地域を築くため、徳島で作り
世界に売るとの信念のもとで事業を展開している。
 - ・ 必需品となる医薬品の一大製造拠点・徳島から四国全体への輸送支援体制を
構築し、災害時の物流を支える。
 - ・ 海陽町で養殖した身入りの良い牡蠣を一日でも早く全国へ届ける上で
頼りになるのは、高速で走れる道路であり、その整備を心待ちにしている。
 - ・ モーダルシフトが加速する中、県南に向けて高規格道路が延伸されることで、
陸海一貫輸送のルートが高知方面へも拡大可能となる。
 - ・ 多様化する旅行スタイルに応えるためには、ポテンシャルの高い県南の自然を
最大限に生かし切るストレスの無い道路が必要不可欠である。
 - ・ 徳島南部自動車道(徳島津田以北)の開通により、徳島市津田地区において、
企業誘致や地価上昇が実現し、道路が持つ力を改めて実感した。

- ・徳島南部自動車道と徳島小松島港の連結を見据え、港町の再活性化を推進している。
- ・野球を通じた全国的、国際的な交流拡大により、地域創生を推進しており、高規格道路が繋がることによる定期性確保で、更なる経済効果が見込まれる。
- ・阿南安芸自動車道との連携を見据え、防災公園やこども園を高台に移転し、南海トラフ巨大地震に備える高台拠点まちづくりを推進している。
- ・重要伝統的建造物群保存地区に選定された出羽島の漁村集落について、町並みを修理・修景し、海を隔てつつも身近な観光資源として磨き上げている。
- ・医師不足を解消するため、全国から医師をリクルートしており、県境を越えた広域医療のさらなる充実にも繋げていきたい。
- ・高知～徳島のエリア一体で、サーフィンを日常生活に取り込む新しい働き方を組み込んだ移住促進に取り組み、その波及効果を期待している。
- ・高知特産の柚子や施設園芸野菜（ナス、ピーマン）は、高規格道路の整備によって、徳島県南経由での全国への販路拡大が期待される。
- ・消費効果が高く、地域経済への波及効果が大きい外国人旅行者のターゲットを、韓国・香港・台湾・タイに絞って誘客促進を進めている。
- ・水産物の水揚げから出荷までを高度衛生管理できる本県初の荷さばき所を県南で整備中であり、魚価向上や出荷量増加による収益拡大が期待される。
- ・蓄電池関連産業を集積し、県民所得の向上を図る「バッテリーバレイ構想」を具体的に進めていくためには、道路整備による物流効率化が求められる。
- ・そこに住んで汗を流し日々頑張っている住民の思いを繋いでいくことこそが、早期開通への道しるべとなる。
- ・「美波・海部間の新規事業化」を、必ずや皆様方と一緒に成し遂げる。

“道路が未来を紡ぐ” 「徳島創生ミーティング」

日時：令和7年10月17日(金)15:00～17:00

場所：徳島県庁11階 講堂

参加者：国土交通省四国地方整備局・徳島県・徳島県議会・市町村(徳島南部・高知東部)・民間企業

次第：1. 主催者挨拶

徳島県政策監 朝田 将

2. プロモーションビデオ上映

3. 意見交換

4. 締めくくり

5. 集合写真撮影

四国地方整備局 道路部長 福本 仁志



官民が一堂に会し、
“徳島の新未来”
を語り合いました

～ 意見交換 ～

南部道(徳島津田以北)の開通で
企業誘致や地価上昇が実現し、
道路が持つ力を改めて実感

阿南安芸道との連携を見据えた
高台拠点まちづくりを推進中

高知特産の柚子・茄子は、
「生産強化×徳島県南経由」で
全国への販路拡大が期待

徳島で作り世界に売る
この信念で事業を展開

災害時の必需品となる
医薬品の一大製造拠点・徳島から
四国全体への輸送支援体制を構築

海陽町で養殖した身入りの良い牡蠣を
一日でも早く全国へ届ける上で
頼りになるのは高速で走れる道路

県南への道が拓くことで
陸海一貫輸送のルートが
高知方面へも拡大可能

多様化する旅行スタイルに応えるには、
ポテンシャルの高い県南の自然を
隅々まで生かし切る道路が不可欠



医師不足解消に向け
全国からリクルート中
県境を越えた医療も充実

高知～徳島のエリア一体で
サーフィンを日常生活に取り込む
新しい働き方で移住促進

道路は、蓄電池関連産業の集積を図る
「バッテリーバレイ構想」の推進エンジン

「美波・海部間」の事業化を
皆様方と一緒に、必ずや成し遂げる

汗を流し日々頑張っている
住民の思いを繋いでいくことが
早期開通への道しるべ